

目指す姿（キャッチフレーズ）

長野に雇用～長野県を好きになり、長野県で働いてもらうために～

現状・課題・強み・弱み等

0 就職の背景にある問題

- ・漠然とした就職できるかという不安、最低賃金の低さ、親の介護等の将来を考えず県外に出て行く若者が多い、自分のやりたいことができる就職先がない、農家において家族間での働き手がない。

1 農業

- ・就職する人が少ない。農業に対する若い人の関心が薄い。跡継ぎがない。耕作放棄地が多い。

2 教育

- ・他県へ進学する人が多い。大学、専門学校が他県に比べて少ない。

3 福祉

- ・高齢化が進む。団塊の世代が逆に仕事への意欲を削る。福祉につく人材が必要になる。

4 商工業

- ・長野県内に中小企業が多いと思うが若者に情報が届いていない。若者が中小企業に目を向けていない。「長野県の大企業は少ない」と思っている。就職したくなる企業が県内に少ない。

5 観光

- ・県内の、全国的に知られている観光資源が一部で、全てを活かせていない。

⇒若い人が長野県に残らず、県外へ出て行ってしまふ点が問題

課題の解決策・強みを活かした取組等

⇒都会の方が魅力的だと思う若者は長野県から出て行く。それぞれの魅力を認めることがまず必要
⇒長野県は様々な面で魅力はあるものの、上述のように全般的にアピール不足。県内外に魅力が完全に伝わっておらず、情報さえ伝えられれば県内雇用につながる余地が残っているのではないかと。

⇒若者に長野県を好きになってもらい、また県外から呼ぶためにも、下記をはじめとした施策が必要

1 農業

- ・他県から農業大学生を連れてくる。農業を企業化する。
農業でどうすれば生活費を稼げるのか、商売のメカニズムを若者等にわかりやすく伝える。

2 教育

- ・県内大学、専門学校の充実⇒1、3に関連

3 福祉

- ・福祉施設のシステムを充実させるべき。バリアフリー設備を整える。
福祉に関する大学、専門学校を作る。 《福祉を新しい長野のビジネスの形にする。》

4 商工業

- ・若者に対して中小企業に関する情報PRを積極的にすべき。

5 観光

- ・県内の人気観光地がなぜ人気になったのかまで知ってもらえるようなアピール方法が必要
活かされていない観光資源を活かした仕事を作るべき。